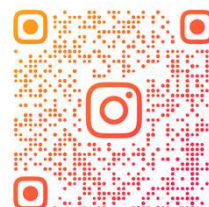




### ～ PROFILE ～

氏名：小川 令人  
 (おがわ のりひと)  
 出身：北海道帯広市



日々の活動をSNSで発信中！

@MMNT\_MORY

### これまでの経歴を教えてください！

高校生までは帯広市で育ち、卒業後はアメリカの大学に進学をしました。卒業後は、日本に帰国し、東京の動画制作会社でアニメーターとして動画制作に従事しましたが、実力不足と心身ともにボロボロになり退職。十勝へ帰郷することに。

帰郷後に絵を描ける人を探していると帯広の会社から声かけがあり、工事の完成予想図や図面等の作図がきっかけで建設コンサルタント転職。その会社で生物調査などのノウハウを学び、その後独立。独立後は、主に道で環境調査や生物調査などを行ってきました。

大樹町の猟友会の方から声かけがあり、地域おこし協力隊有害鳥獣対策支援として大樹町にやってきました。



現場で生物調査をしている様子

### なぜ地域おこし協力隊に？



エゾシカを狙う様子

調査で山に入っていた時にあるハンターに安全管理の為に同行して貰いました。その猟師の語る山野の歩き方や鳥獣や野草の知識に感銘を受け、私自身も猟師になることを決意。猟友会帯広支部に入会し、猟師として地域の課題に向き合ってきました。

そんな折、大樹町の猟友会の方から大樹町で地域おこし協力隊を募集していると声かけがありました。大樹町出身の知り合いもあり、山、川、海、湖がある自然豊かな町の印象を持っていたので、大樹町で野生鳥獣に向き合うことも勉強になると思い、有害鳥獣対策支援員として大樹町に席を置かせていただいています。

## 日々の活動を教えてください！

主な業務は、猟友会の運営補助やエゾシカやアライグマなどの農業被害がある農家さんへの罠の設置、パトロールなどです。

また、ドローンを持っているので、農業被害が見られる畑の空撮を行い、農家さんや猟友会の会員へ情報を共有し、地域の安全管理や効率的な有害駆除に貢献できるよう努めています。

こちらの写真は、空撮したデントコーン畑の被害状況です。左下のサークルは、ヒグマによる食べ荒らしの状況です。

大樹町におけるエゾシカやヒグマによる農業被害額は年間で6,000万円程度に推移しています。

山にドングリやヤマブドウなどの山の幸が不足の年は、農作物を目当てに農地に降りてくる傾向があり、農業被害が増えるとともに捕獲数も増えます。

近年、東北地方を中心として耕作放棄地や過疎地の増加と人身被害が増加していることからクマ被害が注目されています。今後はクマが生息する地域と人の生活圏地域、クマと人が遭遇する可能性のある緩衝地域などを設定するゾーニングマップの作成のための現地調査を行い、大樹町の安全に貢献できればと考えています。



📷 デントコーン畑の被害状況の写真

## 今後の展望を教えてください！

任期内の目標は大樹町における有害鳥獣からの人身被害0を維持すること。また、大樹町に来てからヒグマを捕獲していないので、一頭を目標に捕獲したいと思っています。

大樹町の自然の多様性と豊かさは日本でもトップクラスだと感じています。日高山脈襟裳十勝国立公園を有し、日本一の清流歴舟川が流れ、ホロカヤントウやオイカマナイトウなどの湖沼群が太平洋を臨むこのような多様で豊かな自然を有する市町村は日本全国を見渡しても、そうあるものではありません。この自然を維持しつつ、自然体験学習を通じての観光客や地元学生たちへの自然体験提供し地域理解を促進し、ジビエ（野生鳥獣の肉）を通じて野生鳥獣とヒトの関係性を考える場を提供する。更に、大樹町は晩成社依田勉三が晩成地区において十勝を開いた土地です。北海道開拓史においても重要な土地であることから「自然生物・食・歴史」を通じた体験を地域と共にくまなくマネタイズできればと考えています。



📷 ジビエ（ヒグマ）の写真